

Panasonic

中継サーバーソフトウェア

インストールガイド

品番 WV-AS700

このたびは中継サーバーソフトウェアをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。その後保存し、必要なときにお読みください。

本ソフトウェアをインストールする前に、ソフトウェア使用許諾契約書をよくお読みになり、同意していただける場合にのみCD-ROMパッケージを開封し、インストール作業を行ってください。

サーバー管理者向け

本書で説明するソフトウェアは、使用許諾契約書に基づいて提供され、その内容に同意する場合にのみ使用することができます。

本書に記載された内容は、情報の提供のみを目的としており、予告なしに変更されることがあります。また、本書には正確な情報を記載するように努めましたが、誤りや不正確な記述があった場合にも、松下通信工業株式会社 (Matsushita Communication Industrial Co.,Ltd) はいかなる責任、責務も負わないものとします。

© Matsushita Communication Industrial Co.,Ltd. (松下通信工業株式会社) 2001
本書の著作権は、松下通信工業株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部を許可なく複製・複写することを禁じます。

- 米国におけるLinuxの名称は、Linus Torvaldsの登録商標です。
- Turbolinuxの名称およびロゴは、米国Turbolinux, Inc. の登録商標です。
- ターボリナックス、Turbolinuxは、ターボリナックスジャパン株式会社の登録商標です。
- Microsoft、Windows、およびWindows NTは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Netscape、Netscape Navigator、Netscape ONE、Netscape の N ロゴおよび操舵輪のロゴは、米国およびその他の諸国の Netscape Communications Corporation 社の登録商標です。Netscape、Netscape Communicatorは、Netscape Communications Corporation 社の商標です。(一部の国では、登録商標となっています。)
- Adobe、Adobe Acrobatは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の商標です。
- その他の社名または商品名は各社の商標または登録商標です。

商品概要

中継サーバーソフトウェア（以下、本ソフトウェア）は、遠隔地にあるカメラの画像をインターネット/イントラネットなどのIPネットワーク経由で、パーソナルコンピュータ（以下、パソコン）に配信するためのソフトウェアです。ユーザーは、配信された画像をパソコンのWWWブラウザで見ることができます。

：本ソフトウェアで画像を配信するためには、ネットワークインターフェースユニット（WJ-NT104）およびTurbolinux Serverが別途必要となります。また、Turbolinux Server上でApache HTTP Serverが動作している必要があります。本ソフトウェアとネットワークインターフェースユニットとの通信は、LAN、インターネット、OCN、ISDN（ルータ使用）などで接続できます。

カメラの画像は、ネットワークインターフェースユニットがデジタル信号に変換し本ソフトウェアに送ります。本ソフトウェアが送られてきた画像データを中継することによって、複数のユーザーが同じ画像（ライブ画像）をWWWブラウザで見ることができます。また、本ソフトウェアに送られてきた画像は、サーバー上のハードディスクに録画することができます。録画された画像データは、カメラまたは日付を指定して検索し、必要な画像を見ることもできます。

WWWブラウザによる操作

ユーザーはパソコンとWWWブラウザを利用して、インターネットのホームページを閲覧するのと同じ操作で本ソフトウェアにアクセスできます。

本ソフトウェアにアクセスすることによって、遠隔地にあるカメラの画像（ライブ画像または録画画像）を見たり、カメラを操作したりできます。

WWWブラウザによるサーバーの管理

本ソフトウェアのインストール作業および画像を録画するハードディスクの設定は、Turbolinux Server上で行います。これらの作業完了後、本ソフトウェアの管理はネットワークに接続されたパソコン（WWWブラウザ）で行うことができます。

このため、本ソフトウェアを管理するために、特別なソフトウェアをインストールする必要はありません。

操作画面のカスタマイズ

ユーザーが本ソフトウェアにアクセスしたときに表示される画面は、HTML（Hyper Text Markup Language）で記述されています。Apache HTTP Server上のHTMLファイルを書き替えることによって、お客様独自の画面にカスタマイズできます。

外部機器の制御

コントロールソフトウェアWV-AS400を組み込んだネットワークインターフェースユニット（WJ-NT104）を使用すると、マトリクススイッチャー（WJ-SX550シリーズ、WJ-SX777シリーズ）、フレームスイッチャー（WJ-FS516）、デジタルディスクレコーダ（WJ-DR200）を制御することができます。ただし、これらの機器を制御するためには、HTMLのカスタマイズが必要です。詳しくは本ソフトウェアをお求めなった販売店にご相談ください。

付属品をお確かめください

中継サーバーソフトウェア インストールCD-ROM	1
インストールガイド (本書).....	1
操作ガイドCD-ROM (PDF).....	1

本書について

本書は、Turbolinux Server OSに本ソフトウェアをインストールする方法について説明しています。インストールを行うためには、Turbolinux ServerおよびApache HTTP Serverに関する知識が必要です。

本ソフトウェアの管理 (セットアップ) および操作のしかたは付属CD-ROM内の操作ガイド (WVAS700.PDF) をお読みください。

なお、Turbolinux Serverについては、Turbolinux Server付属のマニュアルまたはヘルプを参照してください。

：操作ガイドはPDF (Portable Document Format) ファイルです。PDFファイルをご覧いただくためには、最新のAdobe Acrobat® Reader™が必要です。最新のAdobe Acrobat® Reader™はAdobe® (アドビシステムズ社) のWWWサイトで入手できます。

用語について

本書で使用している用語について説明します。

サーバー : Turbolinux Server、Apache HTTP Server、中継サーバーソフトウェアがインストールされ、稼働しているコンピュータをサーバーと呼びます。

ソフトウェア : 中継サーバーソフトウェアをソフトウェアと呼びます。

パソコン : Microsoft® Windows® オペレーティングシステムで動作しているコンピュータをパソコンと呼びます。

WWWブラウザ : インターネットのホームページを閲覧するためのソフトウェア (例 : Netscape Navigator、Internet Explorerなど) をWWWブラウザと呼びます。

管理者 : 管理者グループに登録されているユーザーを管理者と呼びます。

ユーザー : WWWブラウザで本ソフトウェアにアクセスし、画像を見たり、操作したりする人をユーザーと呼びます。

アラーム画像 : アラームに連動して撮影する画像をアラーム画像と呼びます。

タイプ1 : 本ソフトウェアをシステムタイプ1で使用するとき、操作または設定できる項目です。詳しくは13ページをお読みください。

ソフトウェア使用許諾契約について

重要： このソフトウェア・プログラムのディスクパッケージを開封する前に、以下の使用許諾契約書を必ずお読みください。

ソフトウェア使用許諾契約書

このソフトウェア使用許諾契約書（以下「本契約」といいます）は、下記のソフトウェア・プログラム（以下「本ソフトウェア」といいます）を購入し、使用するお客様（個人または法人）（以下「お客様」といいます）と松下通信工業株式会社（以下「弊社」といいます）との間で結ばれる契約書です。本ソフトウェアのディスクパッケージを開封する前に、本契約をよくお読みいただき、ご了解後、ディスクパッケージを開封するようお願いいたします。開封後はお客様が本契約に同意していただいたとみなされ、本ソフトウェアの返品はできませんのでご注意ください。お客様が本契約に同意できない場合、弊社は本ソフトウェアの使用を許諾できません。

本ソフトウェア： 画像配信システムの中継サーバー（以下総称して「中継サーバー」といいます）にて画像を配信、記録および再生等するための中継サーバーソフトウェア・プログラムおよび取扱説明書、WV-AS700

使用許諾

弊社は、中継サーバーにより画像を配信・記録・再生する目的で、お客様が本ソフトウェアを1台の中継サーバー用コンピュータ上でインストールまたは使用（以下総称して「使用」といいます）するための非独占的権利をお客様に許諾します。お客様が、他の画像配信システムにおいて中継サーバーを使用する場合には、本ソフトウェアを別途購入していただく必要があります。

複製

お客様は、営利または非営利目的にかかわらず、本ソフトウェアを複製することはできません。ただし、お客様は、本システムの障害時対応バックアップの目的に限り、その複製をすることができます。

禁止事項

お客様は、下記に記載する事項をしてはなりません。

- (1) 本ソフトウェアを翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルすること。
- (2) 本ソフトウェアを改良・変更すること。改良・変更が行われた場合、弊社は当該本ソフトウェアに対しいかなる責任も負いません。
- (3) 本ソフトウェアを頒布または伝送すること。
- (4) 本契約により許諾されている以外のことを行うこと。

譲渡

お客様は、本契約に基づく権利義務の一部または全部を第三者に譲渡し、貸与し、継承させ、または担保に提供することはできません。ただし、お客様が、本ソフトウェアおよび付属するすべての印刷物等を譲渡し、一切その複写・複製物を保持せず、且つ譲受人が本契約の条項に同意した場合に限り、本契約の権利義務を譲渡することができます。

所有権および著作権

本ソフトウェアの所有権は、お客様が本ソフトウェアを購入したときにお客様に移転します。ただし、本ソフトウェアおよびその複製物の著作権およびその他の無体財産権は、弊社に帰属し、お客様には移転しません。

保証の範囲

弊社の責に帰する原因により、本ソフトウェアを使用できない等本ソフトウェアを記録したメディアに物理的な欠陥が発見された場合は、本ソフトウェア購入日から1年間に限り、当該メディアを無償にて交換しますので、当該本ソフトウェアを購入した販売店にお持ちください。

弊社は、本ソフトウェアに含まれる機能がお客様の要求に一致すること、または、本ソフトウェアに瑕疵がないことについて保証いたしません。

責任の制限

弊社は、お客様の選択による弊社以外のソフトウェア並びに機器と本ソフトウェアとの使用または使用不能から生ずるあらゆる障害について責任を負いません。また、弊社は、本ソフトウェアに関連して発生するお客様の事業利益の損失、事業の中断、事業情報の喪失等の直接的、間接的または付随的な損失・損害についていかなる責任も負いません。

有効期間および解除

本契約の有効期間は、お客様が本ソフトウェアを使用した時に開始され、お客様が当該本ソフトウェアの使用を終了するまでとします。お客様が本契約の規定のいずれかに違反した場合、弊社は無催告で本契約を解除する場合があります。本契約が終了した場合には、お客様は直ちに本ソフトウェアの使用を停止するとともに、速やかに本ソフトウェアおよびその複製物を破棄しなければなりません。

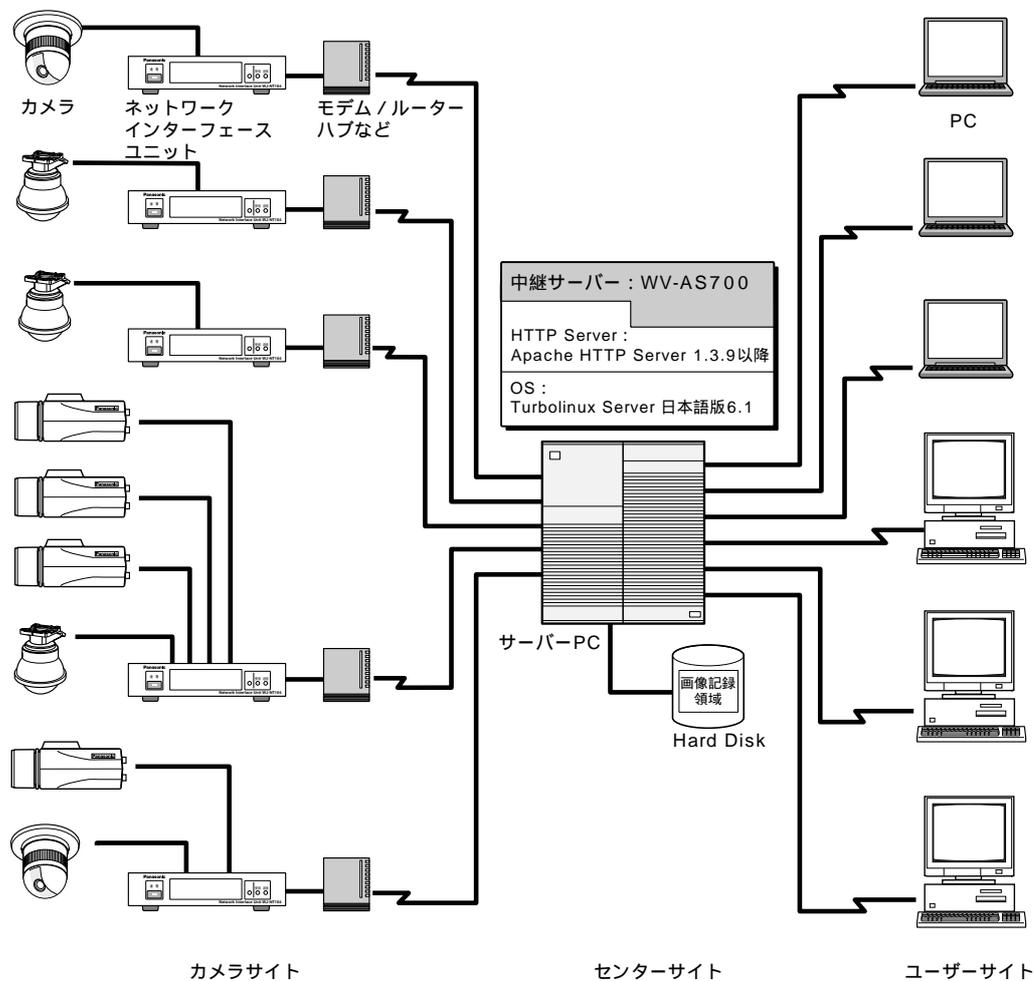
もくじ

商品概要	3
付属品をお確かめください	4
本書について	4
用語について	4
ソフトウェア使用許諾契約について	5
システム構成	8
動作環境	9
センターサイト	9
カメラサイト	9
ユーザーサイト	10
周辺機器の準備	11
ネットワークインターフェースユニットの設定 ..	11
カメラの設定	12
インストール	13
作業概要	13
システムタイプの決定	13
ディレクトリ構成	14
インストールのしかた	15
録画領域の確保	16
中継サーバーソフトウェアの起動	18
中継サーバーソフトウェアの管理	19
中継サーバーソフトウェアの終了	20
アンインストール	21
こんなときには	22

システム構成

本ソフトウェアは、下図のサーバーPCにインストールして実行します。
ご使用時には、設置先のネットワーク環境、監視システム環境に合わせて、設定を行う必要があります。

【システム構成概要】



動作環境

ここでは、サイトごとに、本ソフトウェアを使用するために必要な環境を説明します。

センターサイト

サーバーPCは、以下の条件を満たしているものを別途ご用意願います。

項目	動作環境	
コンピューター ¹	CPU	PentiumIII 600MHz相当以上
	メモリー	512MB以上
	LANカード	10BASE-T/100BASE-TX対応コントローラ（カメラ側、配信側、メンテナンス用の3基構成を推奨）
OS	TurboLinux Server 日本語版 6.1	
HTTPサーバー	HTTP Server	Apache HTTP Server 1.3.9以降 ²

1 動作保証OSに、TurboLinux Serverが含まれているサーバーPCをご使用ください。

2 TurboLinux Serverインストール時に、「HTTP Server」を含む構成でインストールすると自動的にインストールされます。

注1 メール機能を使用する場合、メール環境が整備されている必要があります。

注2 次のコマンドを入力し、iplogをOFFに設定することをお勧めします。iplogを取得するとログファイルが肥大し、設定ファイルが削除される、または書き込めないなどの問題が発生することがあります。

```
#/etc/rc.d/init.d/iplog stop
#chkconfig iplog off
```

カメラサイト

本ソフトウェアでカメラサイトにアクセスし、画像を録画するためには、以下の機器が別途必要となります。

項目	品番・概要
ネットワークインターフェースユニット	WJ - NT104 Ver1.21以上
接続可能なカメラ	NTSCコンポジット信号を出力するカメラ
制御可能なカメラ	ネットワークインターフェースユニットで制御可能なカメラ（例：WV-CS850 / WV-CS850A）
カメラ最大数	64台 （録画有り：システムタイプ1）
	100台 （録画なし：システムタイプ2）

ユーザーサイト

WWWブラウザが動作するパソコンであれば、本ソフトウェアにアクセスし、画像を見たり、操作したりできます。推奨環境は下表のとおりです。

項目	概要
パソコン	推奨OSが動作するパソコン
推奨OS	Microsoft® Windows® (98, Millennium Edition, NT4.0 SP3以降, 2000)
推奨WWWブラウザ	Netscape Navigator4.5以降 または Internet Explorer4.01 SP1以降

: 本ソフトウェアを管理するときは、Internet Explorer 4.01 SP1以降で操作してください。その他のブラウザでは正しく操作できないことがあります。

□ インターネット・WWWブラウザの環境について □

- ・インターネット経由で本ソフトウェアにアクセスする場合
回線状況またはお客様のLANの形態（ファイアウォールの有無など）によっては、本ソフトウェアが配信するHTMLを正しく表示できない場合があります。
本ソフトウェアが配信するHTMLにはJava Script、CGIに対する命令が含まれています。これらの命令の実行が許可されていない環境では正しく表示できませんので注意してください。
- ・回線状況が悪い場合
通信速度が遅い、画像データを受信できないなど通信状況が悪い場合、画像が見つらなくなったり、映像取得失敗を表す静止画像が表示されたりすることがあります。このような現象が頻発する場合は、映像取得間隔を調整してください。

周辺機器の準備

ここでは、本システムに必要なネットワークインターフェースユニットおよびカメラの設定方法について説明します。

注 本書では、本ソフトウェアでネットワークインターフェースユニットおよびカメラを使用する場合の注意点についてのみ説明しています。詳しい設定方法は各機器の取扱説明書をお読みください。

ネットワークインターフェースユニットの設定

ここでは、ネットワークインターフェースユニット設定時の注意点について説明します。詳細は、ネットワークインターフェースユニットの取扱説明書をお読みください。

なお、ネットワークインターフェースユニットを複数台使用する場合は、各ユニットごとに設定する必要があります。

動作モードについて

ネットワークインターフェースユニットに接続するカメラの台数によって、動作モードはつぎのように設定してください。

- ・ネットワークインターフェースユニット1台にカメラを1台接続する場合
1ch固定モードに設定してください。
- ・ネットワークインターフェースユニット1台にカメラを複数台接続する場合
4 to 4モードに設定してください。

注 4to1モードに設定すると、本ソフトウェアの設定とは異なる映像が表示されたり、録画されたりすることがあります。

本ソフトウェアのアラーム機能を使用する場合

アラーム通知機能を使用する場合、つぎに示すようにWJ-NT104のアラーム通知を設定してください。

- ・アラーム通知(独自プロトコル)「独自プロトコルの有無」を「使用する」にしてください。
- ・「通知先IPアドレスの登録」に本ソフトウェアが動作するサーバーPCのIPアドレスを登録してください。

ユーザー認証

本ソフトウェアをインストールした直後は、ネットワークインターフェースユニットの「ユーザー認証を使用しない」に設定されています。

ユーザー認証を使用する場合は、本ソフトウェアの設定(「映像取得ユーザー」および「映像取得パスワード」)を変更してください。

カメラの設定

カメラはネットワークインターフェースユニットの映像入力端子に正しく接続してください。

ここでは、本ソフトウェアの機能を使用しカメラを操作するために必要な設定上の留意点について説明します。カメラの設定メニューの操作方法は、お使いになるカメラの取扱説明書をお読みください。

当社製コンビネーションカメラを使用する場合

当社製コンビネーションカメラを使用すると、あらかじめプリセットされている撮影位置を番号で呼び出して撮影したり、自動的に一定の撮影位置に戻るよう設定したりできます（プリセット機能）。

プリセット機能を使用する場合は、カメラの設定メニューで以下の設定を行う必要があります。

- ・プリセット番号の設定
- ・ホームポジション

□ カメラ設定時の注意 □

- ・本ソフトウェアのアラーム機能はネットワークインターフェースユニットのアラーム出力にのみ対応しています。カメラが映像ケーブルに重畳して出力するアラーム（モーションディテクターなど）には対応していません。
- ・他社または他人のプライバシーを侵害しないよう、撮影場所には十分に注意してください。当社製コンビネーションカメラにはプライバシーゾーン設定機能があります。プライバシーを侵害する恐れがある場合、本機能を使用し、該当箇所が撮影されないよう設定してください（機種によっては設定できないカメラもあります）。

インストール

本ソフトウェアをインストールするためには、Turbolinux Serverの知識が必要です。また、ネットワークから本ソフトウェアにアクセスできるようにするためには、Apache HTTP Serverに関する知識が必要です。

注 Turbolinux Serverへの本ソフトウェアのインストール、録画領域の確保、およびアンインストールは、root権限で行う必要があります。

作業概要

本ソフトウェアを使用するためには、以下の作業を行う必要があります。

- ・システムタイプの決定
- ・ディレクトリ構成の確認
- ・インストールスクリプトの実行（アーカイブファイルを展開してインストール）
- ・録画領域の確保 **タイプ1**
- ・本ソフトウェアの起動
- ・本ソフトウェアの管理

：管理のしかたは操作ガイド（付属CD-ROM）の管理編をお読みください。

システムタイプの決定

本ソフトウェアには、下表に示す2つの動作モードがあります。システムタイプによって必要な作業が異なります。

表 システムタイプ

タイプ	概要
システムタイプ1	カメラの画像のライブ配信および録画を行うことができます（サーバー上に録画領域を確保する必要があります）。 録画された画像は後で再生することができます。また、必要な画像を検索して再生する、またはサーバー上のハードディスクにJPEGフォーマットの静止画としてコピーすることもできます。
システムタイプ2	ライブ配信のみ行う場合のモードです。録画・再生・検索・アラーム機能は使用できません。

なお、システムタイプは運用開始後、必要に応じて変更することができます。ただし、システムタイプ2からシステムタイプ1に変更する場合は、変更する前に、録画領域を確保しておく必要があります。

ディレクトリ構成

本ソフトウェアが使用するディレクトリは下表のとおりです。

表 ディレクトリ構成

ディレクトリ名	概要
/usr/local/s3/bin/	本ソフトウェアの実行ファイルが格納されるディレクトリ インストールスクリプトを実行すると自動的に作成されます。
/usr/local/s3/	本ソフトウェアの設定ファイルが格納されるディレクトリ インストールスクリプトを実行すると自動的に作成されます。
\$HTMLPath/s3/Type1/	システムタイプ1用のHTMLファイルが格納されるディレクトリ
\$HTMLPath/s3/Type2/	システムタイプ2用のHTMLファイルが格納されるディレクトリ
\$CGIPath/s3/cfg/	管理用のCGIファイル等を格納するディレクトリ インストールスクリプトを実行すると自動的に作成されます。
/var/run/	プロセスIDファイルを書き込むディレクトリ インストールスクリプトを実行すると自動的に作成されます。
/var/log/s3/	アラームログ、アクセスログなどログファイルを書き込むディレクトリ インストールスクリプトを実行すると自動的に作成されます。
/var/s3/etc/	録画領域管理情報が格納されるディレクトリ インストールスクリプトを実行すると自動的に作成されます。
/S3_DATAxx/	タイプ1 カメラ画像を録画するための領域（録画領域） このディレクトリは、インストール後、管理者が用意する必要があります。 ディスクは最大16台使用可能です。 xx：2けたの数値（例：S3_DATA00, S3_DATA01など）

- 注
- ・本ソフトウェアで使用する録画領域（カメラ画像を録画する領域）は、OSや実行ファイルが格納されているパーティションとは別パーティションに割り当ててください。同じパーティションに割り当てるとレスポンスが悪化することがあります。
 - ・HTMLファイルおよびCGIが格納されるディレクトリのパスはお客様の環境に依存します。
 - ・ディレクトリ名は変更しないでください。
 - ・各ディレクトリにインストールされたファイルは削除しないでください。

インストールのしかた

CD-ROMのマウント

本ソフトウェアが入っているCD-ROMをセットします。その後、以下のコマンドを入力し、マウントし、カレントディレクトリをCD-ROMに移動します。

アーカイブファイルを展開する

CD-ROMにあるアーカイブファイルを展開し、必要なファイルをインストールします。

1 マウントしたCD-ROM内のインストールスクリプトを起動します。

日本語表示可能なターミナルでインストールする場合

```
#!/s3inst_j
```

日本語表示できないターミナルでインストールする場合

```
#!/s3inst
```

2 環境パラメーターを入力する。

スクリプトを起動すると、本ソフトウェアは起動に必要な環境パラメーターを問い合わせます。

- ・Linuxのデフォルトパス以外にインストールする必要がある場合は、インストール先を入力後、リターンキーを押してください。
- ・Linuxのデフォルトパス ([] 内の表示) にインストールする場合は、何も入力せずに、リターンキーを押してください。

3 管理者用 (admin) のパスワードを入力する。

本ソフトウェアを管理するための管理者用パスワードを入力します。このパスワードは2回入力する必要があります。

入力した内容が一致しない場合、インストールスクリプトは中断されます。中断したときは、手順1から再実行してください。

4 サーバー起動時、本ソフトウェアの自動起動を行うかどうかを入力する。

- ・自動起動を行う場合は、「y」を入力します。「y」を入力すると、自動起動するための記述が/etc/rc.d/rc.localに追加されます。
- ・自動起動を行わない場合は、「n」を入力します。この場合、手動で起動する必要があります。

```
#mount /mnt/cdrom
```

```
#cd /mnt/cdrom
```

ます。☞18ページ

- 5** 入力したパラメーターを確認する。
すべての入力が完了すると、確認メッセージが表示されます。表示された情報でインストールする場合は「y」を入力します。
表示情報を変更する場合は、「n」を入力します。「n」を入力するとインストールスクリプトは中断されます。中断したときは、手順1から再実行してください。

CD-ROMのアンマウント

Linuxへのインストール終了後、以下のコマンドを入力し、CD-ROMをアンマウントしてください。

```
#cd /  
#umount /mnt/cdrom
```

録画領域の確保 タイプ1

本ソフトウェアをシステムタイプ1で使用する場合、Turbolinux Server OS上で録画領域を確保する必要があります。録画領域は、以下の機能を使用する場合、必ず確保する必要があります。

- ・スケジュール録画
- ・アラーム録画
- ・手動録画

領域確保後、管理者用メニューで、カメラごとに画像を録画する領域を設定する必要があります。

注 ライブ配信サービスのみ行うシステムで使用する場合（システムタイプ2）、録画領域を確保する必要はありません。

録画用ディスクの用意

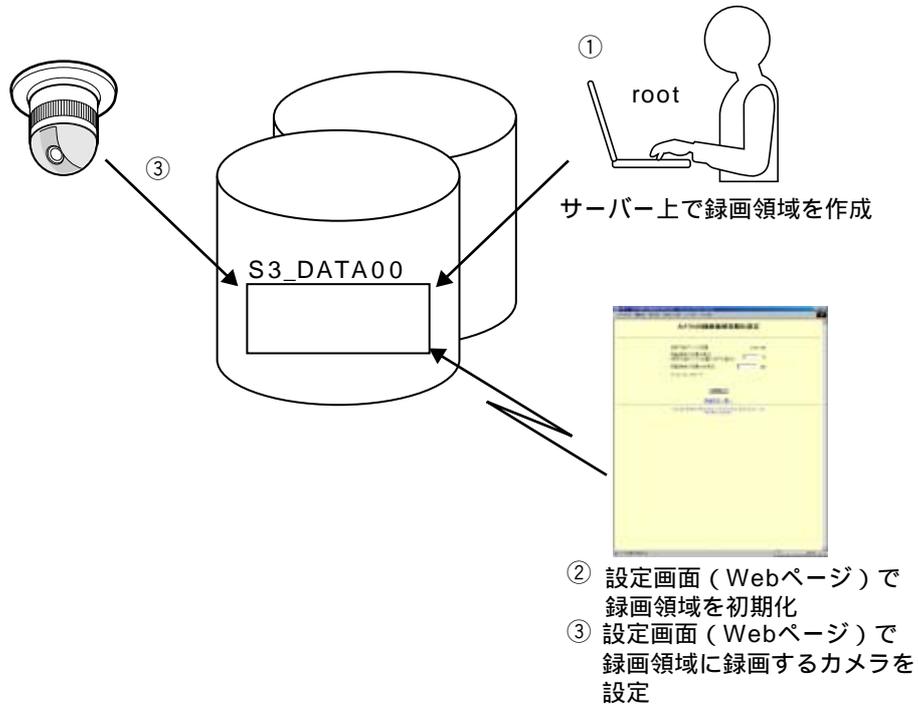
できるだけ、カメラ画像の録画用に、専用のハードディスクを用意してください。
サーバーソフト（Turbolinux Serverおよび本ソフトウェア）または他のソフトウェアが格納されているディスクを使用するとレスポンスが悪化することがあります。

注 録画領域は、できるだけ別のハードディスクに新規パーティションとして割り当ててください。
既存のパーティションに、録画領域を確保する場合は、ディレクトリを作成し、シンボリックリンクを設定する必要があります。

新規にパーティションを用意する場合

新規にパーティションを作成する場合、/S3_DATAxxという名前でマウントしてください
(例：/S3_DATA00、/S3_DATA01など)

注 /S3_DATAxx以外の名前のパーティションは本ソフトウェアで認識できません。



既存のパーティションを使用する場合

既存のパーティションを使用する場合、つぎの操作が必要です。

- 1 既存のパーティションに、mkdirコマンドでS3_DATAxxディレクトリを作成します。
注 S3_DATAxx以外の名前のディレクトリは本ソフトウェアで認識できません。
- 2 /S3_DATAxxディレクトリが呼ばれたとき、手順1で作成したディレクトリに置き換えるシンボリックリンクを設定します。

例 /mnt2パーティションに、S3_DATA02ディレクトリを作成し、/S3_DATA02にシンボリックリンクを設定する場合、つぎのようにコマンドを入力します。

```
#mkdir /mnt2/S3_DATA02/  
#ln -s /mnt2/S3_DATA02 /
```

中継サーバーソフトウェアの起動

本ソフトウェアインストール後、最初の起動はサーバー上で行う必要があります。
本ソフトウェアの終了または再開は、管理者機能で行います。

注 管理者機能はWWWブラウザで実行します。管理者機能を使用するためには、インストール後、本ソフトウェアを起動する必要があります。

本ソフトウェアをインストールしたディレクトリのs3を起動します。通常は、`/usr/local/s3/bin/`にインストールされています。

```
#/usr/local/s3/bin/s3
```

注 本ソフトウェアインストール時、「Turbolinux Server起動時に本ソフトウェアを自動起動する」設定にし、サーバーPCを再起動した場合、上記操作を行う必要はありません。
自動起動または管理者機能で再起動を行うと、本ソフトウェアはバックグラウンドで動作します。
このため、ターミナルには何も表示されません。

インストール直後は下表のように設定されています。

表 インストール時の設定内容

項目	設定内容
カメラ	1台のみ
カメラのIPアドレス	192.168.0.10
カメラの所属グループ	なし
カメラの接続チャンネル	WJ-NT104の1ch
動作モード	常時モード
ユーザ	管理者グループのユーザadminのみ
パスワード	インストール時に入力したパスワード
スケジュール	なし
アラーム機能	なし

中継サーバーソフトウェアの管理

本ソフトウェア起動後、WWWブラウザで下表の項目を設定します。詳しくは付属のCD-ROMの操作ガイドをお読みください。

本ソフトウェアをシステムタイプ1で使用する場合、録画領域が確保されていることを確認してください。

：本ソフトウェアを管理するときは、Internet Explorer 4.01 SP1以降で操作してください。その他のブラウザでは正しく操作できないことがあります。

表 ブラウザー（管理者機能）で設定する項目

設定項目	概要
システムタイプの設定	本ソフトウェアの動作モードを設定します。動作モードには録画を行うシステムタイプ1、録画しないシステムタイプ2があります。
カメラの設定	管理者機能画面でカメラのIPアドレス、タイトルなどを設定します。
録画領域の設定 タイプ1	録画領域確保後、カメラごとに使用する領域を設定します。
ユーザー設定	本ソフトウェアにアクセスするためのユーザーを登録します。
グループ名設定	グループ名を変更できます。
アラーム設定	アラーム発生時の動作を設定できます。
録画スケジュール設定 タイプ1	本ソフトウェアでカメラの画像を録画する場合の運用スケジュールを設定します。
ライブ停止スケジュール設定	カメラ画像のライブ配信を停止するためのスケジュールを設定できます。
システム設定	排他制御、ネットワーク、最大同時アクセス数を設定します。

- 注
- ・設定項目には再起動後から有効になるものがあります。再起動が必要な項目を変更したときは、忘れずにシステム終了・再起動画面で再起動してください。
 - ・システムタイプ2からシステムタイプ1に変更する場合は、システムタイプを変更する前に録画領域を確保してください。

□メール機能を使うためには・・・□

本ソフトウェアは、アラーム発生時など、本ソフトウェアに登録されているメールアドレスにメールを送信して知らせることができます（メール機能）。

メール機能を使用する場合、サーバーにメール環境が整備されている必要があります。詳しくはお使いになるメールサーバーのマニュアル等を参照してください。

中継サーバーソフトウェアの終了

本ソフトウェアの終了は、管理者機能の「システム終了・再起動」画面で行います。「システム終了・再起動」画面でシステム終了ボタンをクリックすると終了します。

注 システム終了ボタンをクリック後、終了確認の画面が表示されるのを確認してください。

本ソフトウェアが終了している間、画像配信サービスは行われません。画像配信サービスを再開するときは、本ソフトウェアを起動してください。

警告 Ctrl + Cキーやkillコマンドなどで強制終了を行うと、本ソフトウェアが使用する録画領域の画像データが破壊されます。システムの終了は必ず管理者機能で行ってください。録画領域の変更中など本ソフトウェアが処理を行っている場合、終了が受け付けられない場合があります。処理終了後にシステム終了操作を行ってください。

アンインストール

本ソフトウェアが不要になった場合は、アンインストール用のスクリプトを実行してください。

アンインストールスクリプトを実行すると、インストール時に作成した全ディレクトリが削除されます。

ただし、インストール後に、録画領域 (S3_DATAxx) として割り当てたパーティションまたはディレクトリは削除されません (内容は削除されます)。rmdirまたはrmコマンドで削除してください。

注 本ソフトウェアのアンインストールは、root権限で行う必要があります。

アンインストールスクリプトは、本ソフトウェアインストール時、以下のディレクトリにインストールされています。

インストール先ディレクトリ : /usr/local/s3/bin/uninstall/

インストールスクリプトと同様に、日本語表示版と英語表示版があります。お客様の環境に応じて実行してください。

日本語表示版 : /usr/local/s3/bin/uninstall/s3uninst_j

英語表示版 : /usr/local/s3/bin/uninstall/s3uninst

スクリプトの実行例 (日本語表示可能なターミナルでアンインストールする場合)

```
# cd /usr/local/s3/bin/uninstall/  
# ./s3uninst_j
```

こんなときには

現象	確認事項・対策
本ソフトウェア起動時、「Can't create s3.pid; running already or permission denied.」と表示され、起動しない	本ソフトウェアの2重起動のチェックが有効になっています。プロセスを確認し、本ソフトウェアが既に動作していないか確認してください。動作していない場合は、前回の起動が強制的に終了された可能性があります。/var/run/ディレクトリにs3.pidファイルがあるかどうかを確認し、あれば削除してください。
画像が取得できない	<ul style="list-style-type: none">・本ソフトウェアは起動されていますか？・ネットワークインターフェースユニット、カメラの電源は入っていますか？・カメラ設定のIPアドレスに誤りはありませんか？
カメラが切り換わらない。	<ul style="list-style-type: none">・カメラ設定のIPアドレスに誤りはありませんか？・同じネットワークインターフェースユニットに接続されているカメラ間で切り換えができない場合、ネットワークインターフェースユニットの動作モードが4to1モードになっていませんか？
再生できない、録画できない、検索できない	<ul style="list-style-type: none">・システムタイプがシステムタイプ2に設定されていませんか？・カメラの操作権はありますか？・録画領域はありますか？
カメラ画像以外の静止画像が表示される	<ul style="list-style-type: none">・カメラの電源は入っていますか？・ネットワークインターフェースユニットの電源は入っていますか？・ライブ停止スケジュール機能が有効になっていませんか？・ネットワークインターフェースユニットと本中継サーバー間の通信はできますか？ Pingコマンドで確認してください。・ネットワークインターフェースユニットのIPアドレスおよびカメラのChが正しい値に設定されていますか？・ネットワークインターフェースユニットの認証機能がONになっていませんか？ アクセス可能なユーザー名およびパスワードを設定し、再起動してください。・アナログ回線など通信レートが遅い回線を使用している場合、まれに表示されることがあります。そのような場合は画像取得間隔を大きめに設定してください。
HTMLが表示されない	<ul style="list-style-type: none">・URLに間違いはありませんか？・Apache HTTP Serverは起動していますか？・HTML文書の記述に誤りはありませんか？・Apache HTTP Serverの設定ファイルの記述に誤りはありませんか？
アラームや画像取得に失敗しても、設定したアドレスにメールが届かない。	<ul style="list-style-type: none">・アラーム機能設定でメール機能を使用する設定になっていますか？・サーバーのメール機能は正常に動作していますか？ 中継サーバーが動作しているマシン上でmailコマンドを使用するなど、指定したアドレスに届くかどうか確認してください。・メールアドレスに間違いはありませんか？
録画できなくなった。	録画領域がデータで一杯になっていませんか？必要であればバックアップを取り、アラーム画像を削除してください（通常領域になります）。
カメラがプリセットポジションに移動しない。	カメラ側でプリセットポジションは設定されていますか？
カメラがホームポジションに戻らない。	カメラ側でホームポジションは設定されていますか？
管理者用メニューが表示できない。	本ソフトウェアは起動していますか？管理者用メニューを表示する場合も本ソフトウェアが起動している必要があります。

